



©1986 Eiko Terasaki

寺崎 英子 (てらさき えいこ)

1941年旧満州生まれ。終戦後、宮城県鶯沢町細倉(現在の栗原市)に家族と移住し、両親は細倉鉱山の購買会で八百屋を営み、兄と弟は鉱山で働く。幼少期にカリエスを患い闘病後、家業を經理の仕事で支えた。鉱山の閉山が発表された直後から町や人々を撮り始め、371本のフィルムを残す。2016年5月逝去。



寺崎英子写真集刊行委員会・年譜

- 2015年 11月 寺崎英子より、ネガ及び撮影ノートの写真集刊行を託される
- 2016 3 寺崎英子写真集刊行委員会を立ち上げる
せんだいメディアテーク／メディアスタディーズのプロジェクトとして承認
- 2016 7 ネガ整理作業、スキャン作業開始
- 2017 2 刊行委員会に2名が新規参加
- 3 モノクロネガのスキャン作業終了
- 10-12 「細倉を記録した寺崎英子のまなざし展」せんだいメディアテーク
- 11 「細倉を記録した寺崎英子の遺したフィルム」仙台アーティストランプレイス
- 2018 1 寺崎英子の同展が2017年東川賞にノミネートされる
- 3 カラーネガのスキャン作業開始
- 5-8 「細倉を記録した寺崎英子のまなざし展」細倉メインパーク・資料館(宮城県栗原市)
- 8 カラーネガのスキャン作業終了
「細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム・カラー編」仙台アーティストランプレイス
- 11-12 「細倉を記録した寺崎英子のまなざし展・カラー編」せんだいメディアテーク
- 2019 2 「細倉を記録した寺崎英子のまなざし展・カラー編」栗原市文化センター
- 2020 9 公開編集室「細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム」仙台アーティストランプレイス
- 2021 7-10 寺崎英子周辺へのインタビュー収録(映像／テキスト)
- 12 『細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム／インタビューアーカイブ』刊行(非売品)
- 2022 7-12 写真集出版に向けて写真を再編集
- 2023 3 『細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム』刊行(発売／荒蝦夷)

関連イベント

対談

「寺崎英子とその時代 —ドキュメンタリー写真の終わり始まり—」

石井仁志 × 小岩勉 (寺崎英子写真集刊行委員会、写真家)

12月16日[土] 14時～15時30分

会場＝7階スタジオa 参加無料、申込不要

石井 仁志 (いしい ひとし)

1955年宮城県仙台市生まれ、プロデューサー、ディレクター。近現代文化史研究。音楽、写真、映像、文学と幅広い執筆活動を展開。細江英公、北井一夫をはじめ、多くの写真家の展示を企画・運営。新潟大学地域映像アーカイブを支援協力。2020年より大阪府豊中市にて写真を中心とした企画画廊「G&S根雨」を主宰。

お問合せ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室

980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

tel 022-713-4483 fax 022-713-4482

office@smt.city.sendai.jp www.smt.jp/projects/hosokura/

関連企画

仙台写真月間2023(第1週)

「細倉を記録する寺崎英子の遺したフィルム・未発表作品展」

2023年10月10日[火]～10月15日[日] 11～19時(最終日17時まで)

会場：仙台アーティストランプレイスSpaceA 仙台市青葉区錦町1-12-7門脇ビル1階